# ハンドボールの
# 高まりと広がりを願って

(財) 日本ハンドボール協会常務理事・指導普及本部長　角　紘昭

**【楽しいハンドボールとは】**

中学校の部活動でハンドボールを経験したあるトップアスリートは「中学校時代のハンドボールは面白かったし、好きでした。しかし、後から考えると楽しくは無かったような気がします。……」と、高校時代は他の競技に進んだ理由を述べておられました。

彼にとってハンドボールが「面白い、好き」という理由は、「仲間と共にできる、少年期の活力を力一杯発散できる」スポーツであったからだと思います。

では「楽しくは無かった」とは…

日々の練習での達成感や先を見通した目標が持てていなかったのではないかと思います。子どもに限らず一人の人間として自ら進んでスポーツ活動を継続していくための重要なポイントは、到達可能な目標をみつけることと理想とする未来像を持ち、追求できる環境が必要であると言われています。

ハンドボールではチームの一人ひとりが到達可能な目標と理想を持ち、仲間と共に達成して行くところに「楽しさ」があると思います。「楽しくは無かった…」のはこのような環境が整っていなかったからだとも考えられます。

この話は、ハンドボールを普及させ、指導している関係者に貴重な示唆を与えていると思います。チームの一人ひとりの能力や個性は様々です。「楽しい」ハンドボールにするためにも目標の持たせ方を、NTS の資料（DVD)、指導実践集録「ハンドボール研究」、「エンジョイハンドボール」等々を参考にして一度振り返って考えたいものです。

**【次代への希望と期待】**

今年度のJOC ジュニアオリンピックカップハンドボール大会は男子沖縄県選抜チーム、女子山口県選抜チームがそれぞれ優勝を果たし17 年間に及ぶ堺市での大会が終了しました。大会運営にご尽力いただいた大阪協会、堺市等々関係の方々にこの誌面をお借りして心からお礼申し上げます。

近年、中学生の大会は小学生期に活動していた経験を基に、中学校での適切な指導の積み重ねでレベルの高いゲームが展開されています。これらの選手たちが中学校３年間でハンドボール生活を完結しないで、これを土台にさらに高い目標をもって進んでゆけるように、指導者相互での確実なバトンタッチをお願いしたいと考えます。

特に今年度優勝の男子沖縄県選抜チームは、チームのメンバー一人ひとりがハンドボールに必要な基本的な技術と感覚を身につけていました。すなわち、ボールを持ったら必ずシュートをねらう意欲と多彩なシュート技術、いろいろなパスの出来る技術、相手の意図を先読みし反応できる能力、ボールに対する途切れない集中力、そしてこれらハンドボール特有の動きになじんだ身のこなし、スタミナ等々、U-15 までに身につけておく必要のある個人的能力が他のチームに勝っていたための優勝と考えられます。

次のステップは、これまでの技のスピードと精度を高めると同時に更なる個のテクニックとチームコンビネーションの修得であり、たくましい身体作りであります。

この年代の選手たちが順調に成長し、オリンピックのロンドン大会、次の大会（東京大会？）に大輪の花を咲かせるように、暖かくそして厳しく育てて行くことが必要と考えています。

# 第17回
# JOCジュニアオリンピックカップ2008

## 男子：沖縄県選抜、女子：山口県選抜が優勝！

## 第17回JOCジュニアオリンピックカップ2008ハンドボール大会を終えて

JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会事務局長　逢阪 静男

第17回JOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会が、12月25日（木）～28日（日）までの4日間、堺市家原大池体育館、堺市金岡体育館、堺市原池公園体育館の3会場で、北は北海道から南は沖縄県まで全国9ブロックより予選を勝ち抜いた男女48チームが熱戦を繰り広げた。

この大会は春、夏の全国中学校大会と異なり各都道府県の選抜で構成され、単独チームでは全国大会に出場できなくとも、力を持った選手がもう一度チャレンジでき、各ブロック予選から激戦が繰り返され、ぐんぐんレベルも高まり近年では注目を浴びている大会である。その中で、17回目の大会に初出場を果たしたのは男子千葉県選抜、和歌山県選抜、鳥取県選抜、高知県選抜、福岡県選抜、女子では、宮城県選抜、宮崎県選抜の7チームである。この大会の趣旨である将来オリンピック、世界選手権大会において日本代表選手として活躍する将来性のあるジュニア選手の発掘と、育成を目的とした大会にふさわしい試合が繰り広げられた。

試合に先立ち、開会式でオリンピアンからのからのメッセージどして、北京オリンピック400メートルリレー銅メダリストの朝原宣治選手から出場選手に激励の言葉があり、中学時代ハンドボールの選手として、全国大会に出場し、現在の陸上競技の基礎に役立ったことなどを述べられ、選手たちの緊張をほぐされた。

予選リーグは男女共3チームづつ8つのブロックに分かれて行われ、各ブロックの1位チームが、準々決勝、準決勝、決勝戦のトーナメント戦が行われた。試合は予選リーグから熱戦が繰り広げられ、1点を争う試合が多く、一つのチャンスを見事に生かして勝利に結びつけるチーム、接戦の末チャンスを生かせず涙をのむチームと明暗が分かれた。また、準々決勝は特に好ゲームが多かった。女子の試合で富山県選抜対兵庫県選抜の試合が7mスローコンテストになったのをはじめ、男子も引き続き福井県選抜対熊本県選抜・香川県選抜対福岡県選抜の試合の両コートとも7mスローコンテストの試合が続出した。女子の決勝は接戦を勝ち抜いた女子山口県選抜と、福井県選抜が戦うことになった。試合は前半福井県選抜のミスから逆速攻で連取し、その後も山口県選抜9番田村美沙紀選手の4連取で大きく引き離し、福井県選抜も何とか立て直そうとするが、3－3ディフェンスを崩すことができず後半に入って一層点差が開きメンバーを入れ替えた。福井県選抜も意地をみせ、林選手、三屋選手の連続得点で追い上げたが山口県選抜の余裕の勝利で、14年ぶり2回目の優勝を果たした。

一方、男子の決勝戦では準々決勝、準決勝ともに接戦を勝ち抜いてきた九州ブロック同士の戦いとなった。沖縄県選抜はエースの東江選手のシュートで先制し、3－2－1ディフェンスの堅い守りから、ミスを突いて連続4得点を挙げ優位に試合を運んだ。熊本県選抜も14番桑田選手のシュートで反撃したが、前半18対14沖縄県選抜4点差で折り返した。後半に入っても沖縄県選抜が2点先取、大差がつくかと思われたが、熊本県選抜も連続3点を返し反撃、しかし走力、ディフェンス力に勝る沖縄県選抜は6点連続、5点連続と得点を挙げ、食い下がる熊本県選抜を引き離し、2年振り5回目の優勝を果たした。

大会開催にあたり年末の慌ただしい時期にもかかわらず選手の皆様にはこれまで積み上げてきた力を十分に発揮していただき、観客をコートに引き込み、試合終了の笛が鳴るまで勝敗の行方が決まらないゲームの連続で、試合終了後感激の涙、無念の涙で観客まで同じ気持を味わえる程大会を盛り上げてくれた。

また、審判員、大会役員、補助役員の大学生、高校生、各中学生の大会運営に携わっていただいた皆様、そして、広告協賛をいただいた企業、団体、個人の皆様のおかげを持ちまして一層充実した大会となりましたことを関係者一同心より感謝しお礼申し上げます。

なお、17年間大阪、堺の地で根づいてきたJOCジュニアオリンピックカップハンドボール大会も今大会をもって大阪での開催も最後となりました。第18回大会からは、愛知県名古屋市で開催されることになりました。今後さらに発展し、この大会の趣旨でもある将来オリンピック、世界選手権大会において日本の代表選手として活躍する選手が現れることを信じてやみません。

この大会の開催にあたり、17年間の長きにわたり大会を盛り上げていただいた選手の皆様、そして選手を支えていただいた各チームの監督、コーチ、保護者の皆様、また、運営に携わっていただいた皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

## 【最終順位】

| ■男子 | | ■女子 | |
|---|---|---|---|
| 優　勝 | 沖縄県選抜 | 優　勝 | 山口県選抜 |
| 準優勝 | 熊本県選抜 | 準優勝 | 福井県選抜 |
| 第３位 | 愛知県選抜 | 第３位 | 兵庫県選抜 |
| | 福岡県選抜 | | 埼玉県選抜 |

## 【個人表彰】

■男子

▽オリンピック有望選手
大迫秀政　京都府選抜（男山中）

▽最優秀選手
東江雄斗　沖縄県選抜（神森中）

▽優秀選手
川島悠太郎　福井県選抜（明倫中）
千葉　敦　岩手県選抜（矢巾中）
服部友郎　愛知県選抜（汐路中）
青山　玄　愛知県選抜（汐路中）
矢田路人　香川県選抜（塩江中）
安森　啓　福岡県選抜（西南学院中）
長澤　誠　岩手県選抜（矢巾北中）

■女子

▽オリンピック有望選手
永田美香　福井県選抜（光陽中）

▽最優秀選手
松本彩花　山口県選抜（岩国中）

▽優秀選手
白川真衣　山口県選抜（岩国中）
堀川真奈　福井県選抜（光陽中）
真島千尋　兵庫県選抜（大蔵中）
石井優花　埼玉県選抜（三郷北中）
佐々木春乃　富山県選抜（堀川中）
笠原有紗　京都府選抜（培良中）
慶田花幸　沖縄県選抜（仲西中）

［開会式より］

## JOC 大会に参加して…選手の感想から

第 17 回 JOC ジュニアオリンピック大会に参加した選手にインタビューしました。

《兵庫県選抜》

**波多野ひかりさん：**今日の試合は前半が勝負と言われて乗り切ったが、後半一気にもっていかれてしまった。速攻にやられてしまい、最後まで良い試合をしたかった。去年から出場しているが、自分たち３年生のチームで試合が出来て嬉しかった。ここまで来られたのも、保護者と先生のおかげと感謝している。高校に進学しても、ハンドボールを続け良い結果を出したい。

**大浦あみさん：**試合では、前半は上手くできていたが、後半すきを見せて山口のペースになってしまい、最後まで自分たちのペースが掴めなかった。JOC はレベルが高い大会で、中学生としての最後の大会として参加できて嬉しかった。先生と親と仲間に感謝している。進学してもハンドボールを続けていきたい。

**真島千尋さん：**試合には負けてしまったが、自分たちの精一杯の力を出せて満足している。選抜チームでは他の中学の仲間とも練習を重ね、３年生として最後まで楽しくプレイが出来た。今日の日は皆と同じく親と先生に感謝をしています。高校でもハンドボールを頑張って続けていきたい。

左から、波多野さん、大浦さん、真島さん　　左から、石井さん、亀田さん

《埼玉県選抜》

**石井優花さん：**今日の試合は勝てたと思い残念であった。大事な所で守れずに終わってしまった。JOC 大会は他の大会とは雰囲気とレベルが異なる。この大会には去年も参加したが、今年は中学校生活最後であり思いが違った。今日の私があるのも、親、先生、先輩、後輩など皆に感謝している。進学したら、勿論ハンドボールを続けて、全国制覇をしてみたい。

**亀田潮里さん：**試合ではミスが多く一本が守れずに悔しい。JOC 大会には去年も参加したが、今年は３年生となり全く違う感じがした。ハンドボールを続けていられるのも、親と先生そして仲間のおかげと感謝をしています。高校進学後は、ハンドボールを続けて、全国３位という今までの自分のベストを上回る全国制覇の結果を出したい。

# 【男子優勝：沖縄県選抜】

## ■沖縄県選抜監督　東江 正作

**第17回JOCジュニアオリンピックカップ2008を終えて**

予選リーグ山口県、京都府と強豪ブロックに入り、タフなゲームになることが予想されました。案の定、1点を争うゲームとなり、点は取れるが、簡単にリスタートで失点するというパターンが続きました。リスタートを守る練習までは行えない状態でしたので、「練習は嘘をつかない」ことを再認識しました。対応するには、ゲームの中で徐々に行えばよいと、私自身考えていましたので、選手には、意識付け→守る方法→実践→修正と段階的に行いました。

攻撃は強い縦の攻めを意識し、そこから連動、継続をすることをチームコンセプトとしました。圧倒的なシュート力、縦への強さを持つエースに頼りがちなチームに、機動力のあるプレイヤー、高さのあるプレイヤーでBCP陣を形成し、常に相手にプレッシャーをかけ続け、機を見てサイド陣のくせ者で撹乱。速攻では、深く広いポジショニングを徹底し、帰陣が整ってなければ押すことを共通理解し、相手ディフェンスを休ませないことをテーマとしました。

予選リーグを苦しみながら勝ち上がり、準々決勝の岩手戦は、情報がほとんどない状況で臨み、残り1分で2点のビハインドから、選手自ら攻撃的な姿勢を見せ、集中力を持続させ、残り7秒の逆転劇となりました。

準決勝の愛知戦は「大型でシュート力のあるチームなので、前半10分は観察し、失点しても慌てないこと」とミーティングを行いコートに送り出したが、相手得意のプレイから失点が続き、焦りから最大5点のビハインドとなりました。落ち着きを取り戻すことを最優先にアドバイスを送り、戦術の変更を行い徐々に点差を縮め逆転勝利を収めることができました。

準決勝終了後、これまで様々な場面を想定したトレーニングを行いここまで来たことを再確認し、この大会の総括を行い、決勝では最高のプレイで、最高のゲームを行うことを信じコートへ送り出しました。自分たちのプレイをすることを最優先とし、ベンチも選手の良いパフォーマンスを引き出すことに集中しました。結果的に伸び伸びとプレイし、戦ってきた16人全員がコートに立ち、優勝することが出来ました。

県内高校の協力や各中学校スタッフから激励、父母の献身的なサポートがなければ、我々選手、スタッフだけでは成し得なかったことでしょう。チーム沖縄として戦えたことに感謝の念で一杯です。

最後に、一戦ごとに逞しく成長していった選手達と共に戦えたこと、出会えたことを誇りに思い、感謝いたします。ありがとうございました。

---

## ■沖縄県選抜主将　東江 雄斗

**全国大会を振り返って**

僕達、沖縄県選抜は第17回JOCジュニアオリンピックカップ大会で2年ぶり5度目の優勝を果たしました。

優勝までの道のりは、とても厳しかったです。厳しい練習できつかったけど、心技体においてとてもレベルアップしていました。しかし、修正するところがたくさんあり、沖縄での最後のミーティングで、監督に「全国に行ってから修正する」と言われながら大阪に乗り込みました。

予選リーグでは、どれも僅差で勝ち、決勝トーナメントに進みました。準々決勝、準決勝と逆転勝ちでした。勝てたのは、練習でいつもそのような状況でやっていたので、焦りなど全くありませんでした。

そして、決勝戦の始まる前のミーティングで監督が「中学生最後の試合、楽しんでいこう !!」と送り出されました。

試合では、大会の中で一番楽しく、僕達が目指してきたハンドボールができました。

試合終了のブザーが鳴ったとき、僕達は抱き合ってうれしさのあまり、一粒の涙も流れませんでした。

優勝できたのも、今まで一緒に戦って指導してくれた監督、コーチ、父母、大会関係者をはじめ沖縄県ハンドボール協会の皆様のご支援があったからだと、とても感謝しています。

この優勝をスタートラインに、次は沖縄インターハイに向けて、突き進んでいきたいです。

# 【女子優勝：山口県選抜】

## ■山口県選抜監督　林　孝志

「5，4，3，2，1ヤッター」カウントダウンとともに歓喜の声が渦巻く中で、念願のJOC全国制覇を成し遂げることができました。山口県勢としては、昨年の男子に引き続いて2年連続の優勝で、女子としては14年ぶり2度目の優勝となります。

予選リーグ、準々決勝を勝ち上がり、準決勝は兵庫選抜とあたりました。前半はDFシステムを研究されていて、ダブルポストにずいぶんと苦しめられ同点で折り返しました。ハーフタイムで対応を確認し、後半は、エース松本の活躍などで徐々に突き放すことができ、決勝に駒を進めることができました。相手は、夏の全国大会の決勝で1点を争う熱戦を繰り広げた光陽中を主体とした福井選抜でした。前半立ち上がりの10分間はDFのプレスが功を奏し、相手チームが戸惑っているところを速攻で9対1とリードしました。しかし、相手チームが落ち着いてからは、一進一退のゲーム展開となり、また、お互いのキーパーの好守もあり、12対4のロースコアで折り返しました。後半も一進一退の攻防が続き、前半のリードを守るのが精一杯でしたが、中学生最後の大会で有終の美を飾ることができとても嬉しく思います。この大会は、夏のチャレンジャーの気持ちとはひと味違った、プレッシャーを感じながらの戦いでした。

山口県ではこの世代の子どもたちをゴールデンエイジと呼んでいます。彼女たちが、2011年山口国体というビッグイベントを目標に、郷土の選手の一人として自信と誇りをもちながら、高校でも活躍してくれるものと信じています。

最後になりましたが、大会関係者をはじめ多くの方々の御支援をいただき、誠に有り難うございました。初心に返り、これからもハンドを楽しみたいと思います。

---

## ■山口県選抜主将　福永 彩香

10，9，8，7……カウントダウンをしていくうちに、私は待ちきれず、ベンチから立ち上がっていました。その瞬間、全国制覇が決まったのです。

二度目の全国大会で、私は落ち着いて試合に臨むことが出来ました。順調に勝ち進んで、ついに準決勝。私が一番心配していたところです。夏の全国大会のとき「勝たなければ…」というプレッシャーから、自分たちのプレーが出来ませんでした。今回もそのような内容になってしまうではないか、とても不安でした。不安な気持ちのまま始まった準決勝。案の定皆のプレーがかみ合わず、同点のまま前半を折り返しました。ですが、後半はしっかり修正して、なんとか勝つことができました。

そしていよいよ決勝戦。相手は夏と同じ福井です。試合開始のホイッスルと同時に、私は自分のポジションにつき、コートを見渡しました。福井は身長が高く、やりにくいところもありましたが、皆そんな状況も丸ごと楽しんでいるように感じました。前半、ビックリするほど調子がよく、8点リードで後半を迎えました。後半の途中から交代して、私はベンチからの応援となりました。あっという間に試合終了のホイッスルがなり、皆笑顔で抱き合いました。全国制覇を目標にやってきて、その目標が達成でき、林先生を胴上げすることができてとても嬉しかったです。

全国という大きな舞台に立ち、二度も全国制覇という結果が残せたのも、林先生、河村先生、谷村先生、桑原先生をはじめ、応援してくださった友達、家族など多くの方々のおかげです。この全国制覇は、私たちを支え、応援してくださった皆さんと、一緒に勝ち取った全国制覇だと実感しています。

私は全国制覇をできたことに誇りを持ち、夢を持ち続け、その夢に突き進んでいきたいと思います。山口選抜の16人でハンドが出来たことは、一生忘れません。そしてもう一度このメンバーでプレーが出来るよう、更に努力を重ね、感謝の気持ちを忘れずに夢に向かってハンドボールを続けていきたいです。

# 戦評

## 【男　子】

▼準決勝

**沖　縄　33（14－17、19－14）31　愛　知**

〔戦評〕愛知が前半立ち上がり、堅守からの速攻で3点連取、主導権を握るも、対する沖縄もエース東江のロングで反撃を開始。前半22分で15対14と一進一退の攻防になったが、残り3分、沖縄のミスに乗じて愛知が速攻を繰り出し、3点をリードして折り返した。

後半に入り、沖縄の3－2－1DFが機能し始め、11分に23対23の同点に追いつき、13分過ぎには逆に3点差をつけた。しかし、愛知もGK鈴木の堅守からの速攻で23分には31対32の1点差に迫った。息詰まるゲームも沖縄の途中交代のGK外間がファインセーブの連続で追いすがる愛知を振り切った。

**熊　本　25（14－5、11－13）18　福　岡**

〔戦評〕熊本のスローオフで試合開始。福岡の2番、4番のロングシュートで2点リード。だが、熊本は7mスロー、速攻で同点に追いつき、さらに逆速攻で逆転する。熊本の攻撃リズムが出て、組織で攻撃を行い、ロング、ポスト、カットインシュートで得点を重ねる。福岡はタイムアウト後守りを固め、両チームともに得点が入らない状態となる。熊本もタイムアウトをとり、再度ミスを減らして得点を重ね、14対5と9点をリードして前半を終える。

後半は両チームともミスを減らし得点を重ね白熱した展開となったが、前半の点差が大きく、福岡は及ばなかった。

▼決勝

**沖　縄　33（18－14、15－12）26　熊　本**

〔戦評〕開始40秒、沖縄のエース・東江のロングシュートが決まる。3－2－1で防御する沖縄は、相手シュートミスからのキーパーからの速いボール出しで連続ポイント。それに対して熊本は、ポストからの得点とサイドシュートで対抗する。前半7分、6対3と沖縄がリード。多彩な攻撃を見せる沖縄のノーマーク気味のシュートを熊本GK元田がナイスキーピング。両チームGKの好守が目立った戦いで、前半は18対14と沖縄がリードして折り返す。

後半開始早々、沖縄・津波古のシュートが決まり、19対14とリード。熊本もサイド、ポストシュートで反撃するが、後半8分には沖縄・東江のシュートで23対17と突き放す。中盤、熊本も懸命の攻撃を見せるが、沖縄GK浦崎に7本連続阻止され、15分には27対17と10点差に広がる。
18分過ぎから熊本も3連続得点をあげるが追い上げもそこまでで、沖縄が33対26で優勝を飾った。

## 【女　子】

▼準決勝

**福　井　25（13－10、12－12）22　埼　玉**

〔戦評〕高いDFとポストを利用して攻める福井に対し、足を生かして守り、速攻で得点をあげる埼玉との準決勝は、観客をわかせる大熱戦となった。勝負は前半の3点差を守り抜いた福井が制して2年連続の決勝進出を果たした。

ゲームは福井・永井のサイドシュートから5分過ぎまで福井のペースで進んだ。埼玉はシュートミスを速攻につなげて、10分までに同点にする。そこから埼玉の退場をついて福井が一気にリードを広げ、20分で12対6となる。埼玉は最後に石井、秋山、佐藤と得点して3点差で前半を終える。

後半は、福井・永田のポストシュートから坂本、森永のシュートで16対10とする。埼玉は鈴木の速攻、カットインなどの活躍で追い上げ、15分には2点差とする。この時間帯は埼玉DFの足がよく動き、パスカットを連発した。小さいながら足を使ったDFからの速攻で福井を苦しめた。

**山　口　31（13－13、18－11）24　兵　庫**

〔戦評〕前半、山口は速いフットワーク力を生かした3－2－1のラインの高いDFで兵庫の攻撃を封じようとする。一方兵庫は6－0のDFで対抗。前半8分過ぎから兵庫はポスト真島を軸下攻撃で山口のDFを崩しにかかるが、山口も松本のロングシュートで応酬、両者一歩も譲らず13対13の同点で折り返す。

後半始まってすぐ兵庫は相手カットインを守りきれず、真島が退場。この7mスローを山口はきっちり決め、人数の少ない兵庫を攻め3点差をつける。ここで兵庫はタイムアウトをとり流れを取り戻そうとするが、山口の流れを止めることができず、一気に6点差をつけられる。兵庫はその後も真島を中心に反撃を試みるが、山口GK水落に阻まれ、追いつくことができなかった。

▼決勝

**山　口　18（12－4、6－8）12　福　井**

〔戦評〕試合開始より山口は福井のミスを逆速攻、2点連取で調子に乗る。インターセプトからの速攻、相手反則後からの速攻で5対1と5分間で引き離す。一方福井は、山口の高い位置からの3－3防御を崩せずにミスを連発、たまらずタイムアウトをとる。その後も福井は立て直しを図ろうとするが攻めあぐみ、山口はその間、田村が4点を連取、一気に点差が開く。福井・坂本が2点を連取して12対4で前半を終了。

後半も山口ペースに変わりなく試合が進む。15分過ぎ、山口は17対7と10点差をつけ、余裕の展開でメンバーを変える。残り10分、福井は林のサイドシュートで2点、三屋の2得点などで追い上げるも山口の余裕の勝利ゲームとなった。

## Photo Snap

17年間続いた堺での最後の開催、
日本協会から堺市に感謝状を贈呈

コート２面ともに7mTC（男子準々決勝）

オリンピック有望選手の大迫君、永田さん

沖縄選抜、東江監督の胴上げ

沖縄選抜の応援の垂れ幕

閉会式

最後に寄書きで思い出作り

# 2008年度 NTS センタートレーニング報告

NTS 運営委員会　関　健三

2008 年度 NTS センタートレーニングが 2009 年 1 月 4～6 日（高校生）・10～12 日（中学生）の日程で NTC（ナショナルトレーニングセンター）にて開催されました。各ブロックから推薦された中学生及び高校生の男女 50 名がナショナルスタッフチームにより、それぞれ各カテゴリー 30 名が選考されて参加しました。また、JOC ジュニアオリンピックカップからナショナルスタッフによる推薦を受け、追加参加しました。世界を相手に戦うという視点のもと、強化委員・ナショナルスタッフ・情報科学委員・指導委員の指導スタッフによりコーチングがなされ、充実した内容で開催されました。NTC 施設はハンドボールコート 2 面の専用コートがあり、いつでもトレーニングを行うことができる状態であり、素晴らしい環境が整いました。宿泊は隣接するアスリートビレッジに泊まる予定でしたが、他競技との都合により一部は池袋のホテルを利用しました。

今後とも NTS 事業にご協力いただきますようお願い申し上げます。

## ■参加者

中学生男子 31 名、中学生女子 35 名、高校生男子 29 名、高校生女子 25 名、引率指導者 47 名、ナショナルスタッフチーム 30 名他、合計 200 名

## ■スケジュール

**【高校生】**

《1 月 4 日》

14：00 開始式、14：30～15：30 体力測定

15：30～17：30 トレーニング

19：00～20：45 知的スキル

《1 月 5 日》

9：00～12：00 トレーニング

14：00～17：30 トレーニング

19：00～20：45 知的スキル

《1 月 6 日》

9：00～11：30 トレーニング、終了式 11：45

**【中学生】**

《1 月 10 日》

14：00 開始式、14：30～15：30 体力測定

15：30～17：30 トレーニング

19：00～20：45 知的スキル

《1 月 11 日》

9：00～12：00 トレーニング

14：00～17：30 トレーニング

19：00～20：45 知的スキル

《1 月 12 日》

9：00～11：30 トレーニング、終了式 12：30

## ■ NTS トレーニングの趣旨

NTS では将来のナショナルチームメンバーとして活躍を期待し、ナショナルプレーヤーとして是非備えていて欲しいことをイメージして内容を策定。

NTS では各カテゴリーチームを作るものではなく、普遍的課題克服に向けて『個の育成』を目的に内容を策定。

## ■トレーニング内容

### （1）体幹トレーニング

〈一人、または二人組で行う用具が必要とされないトレーニング〉

①四足歩行　②スパイダーウォーク　③足上げ腹筋　④手押し車

〈メディシンボール〉

①ねそべりパス　②3回スウィング対人パス　③3回スウィングサイドハンドパス　④座りながらスウィング対人パス　⑤アンダーハンドスナップパス

〈シュート〉

短いバックスウィングからパスやシュート　②ケンケンからジャンプシュート

### （2）OFトレーニング

〈DFにコンタクトされながらパススキル、オフザボール位置取り〉

①DF-OFコンタクトを行いながらパスワーク②OFが有利な状態で1対1

②OFが有利な状態で1対1＋ノーマークシュート

### （3）DFトレーニング

〈既にハンズアップの状態からOFとのハードコンタクト〉

①6対6で示されたゴールエリアにパスを目的にしたパスゲーム　②DFが座ってスタートから1対1

### （4）FBトレーニング

〈早いパスを前に投げながら、1パスでボールを運ぶ〉

①3人でパス練習　②3対3でパスゲーム　③2対2でボール運び練習

### （5）GKトレーニング

〈ポジショニングの意識の徹底〉

①構え（面つくり）②準備としてのポジショニング　③実践トレーニング（ロング・サイド・ポストそれぞれに対する正しい判断）

### （5）知的トレーニング

①柔道の木村JOC専任コーチ、内柴選手の講演『オリンピックに参加して』

②審判部からの講義『審判から見た必要な技術』

③世界のハンドボールプレイ『VTRをまとめた世界のプレー集』

④意見交換『アジアを勝ち抜くためには』

## 【出場校一覧】

| | 男子 | | 女子 | |
|---|---|---|---|---|
| | 学校名 | ブロック 都道府県名 | 学校名 | ブロック 都道府県名 |
| 1 | 帯広三条高等学校 | (北 北海道) | 釧路江南高等学校 | (北 北海道) |
| 2 | 札幌真栄高等学校 | (南 北海道) | 札幌月寒高等学校 | (南 北海道) |
| 3 | 県立湯沢高等学校 | (東 北1位 秋田県) | 県立湯沢高等学校 | (東 北1位 秋田県) |
| 4 | 県立不来方高等学校 | (東 北2位 岩手県) | 県立石川高等学校 | (東 北2位 福島県) |
| 5 | 県立北村山高等学校 | (東 北 山形県) | 県立不来方高等学校 | (東 北 岩手県) |
| 6 | 県立羽後高等学校 | (東 北 秋田県) | 県立大曲農業高等学校 | (東 北 秋田県) |
| 7 | 駿台甲府高等学校 | (関 東1位 山梨県) | 佼成学園女子高等学校 | (関 東1位 東京都) |
| 8 | 市川高等学校 | (関 東2位 千葉県) | 県立栃木商業高等学校 | (関 東2位 栃木県) |
| 9 | 横浜創学館高等学校 | (関 東 神奈川県) | 昭和学院高等学校 | (関 東 千葉県) |
| 10 | 県立富岡高等学校 | (関 東 群馬県) | 駿台甲府高等学校 | (関 東 山梨県) |
| 11 | 県立川口東高等学校 | (関 東 埼玉県) | 県立横浜南陵高等学校 | (関 東 神奈川県) |
| 12 | 県立藤代紫水高等学校 | (関 東 茨城県) | 浦和実業学園高等学校 | (関 東 埼玉県) |
| 13 | 法政大学第二高等学校 | (関 東 神奈川県) | 県立川和高等学校 | (関 東 神奈川県) |
| 14 | 明星高等学校 | (関 東 東京都) | 県立水海道第二高等学校 | (関 東 茨城県) |
| 15 | 北陸高等学校 | (北信越1位 福井県) | 県立氷見高等学校 | (北信越1位 富山県) |
| 16 | 県立氷見高等学校 | (北信越2位 富山県) | 小松市立高等学校 | (北信越2位 石川県) |
| 17 | 高岡向陵高等学校 | (北信越 富山県) | 高岡向陵高等学校 | (北信越 富山県) |
| 18 | 愛知高等学校 | (東 海1位 愛知県) | 名古屋経済大学市邨高等学校 | (東 海1位 愛知県) |
| 19 | 県立四日市工業高等学校 | (東 海2位 三重県) | 県立飛騨高山高等学校 | (東 海2位 岐阜県) |
| 20 | 岐阜市立岐阜商業高等学校 | (東 海 岐阜県) | 星城高等学校 | (東 海 愛知県) |
| 21 | 名古屋市立桜台高等学校 | (東 海 愛知県) | 県立四日市四郷高等学校 | (東 海 三重県) |
| 22 | 県立高砂南高等学校 | (近 畿1位 兵庫県) | 暁高等学校 | (東 海 三重県) |
| 23 | 府立向陽高等学校 | (近 畿2位 京都府) | 四天王寺高等学校 | (近 畿 1位 大阪府) |
| 24 | 桃山学院高等学校 | (近 畿 大阪府) | 府立洛北高等学校 | (近 畿 2位 京都府) |
| 25 | 県立紀北農芸高等学校 | (近 畿 和歌山県) | 神戸星城高等学校 | (近 畿 兵庫県) |
| 26 | 府立洛北高等学校 | (近 畿 京都府) | 県立生駒高等学校 | (近 畿 奈良県) |
| 27 | 県立岩国工業高等学校 | (中 国1位 山口県) | 宣真高等学校 | (近 畿 大阪府) |
| 28 | 県立東岡山工業高等学校 | (中 国2位 岡山県) | 夙川学院高等学校 | (近 畿 兵庫県) |
| 29 | 県立境港総合技術高等学校 | (中 国 鳥取県) | 県立華陵高等学校 | (中 国1位 山口県) |
| 30 | 県立香川中央高等学校 | (四 国1位 香川県) | 県立総社南高等学校 | (中 国2位 岡山県) |
| 31 | 徳島市立高等学校 | (四 国2位 徳島県) | 県立境高等学校 | (中 国 鳥取県) |
| 32 | 熊本市立千原台高等学校 | (九 州1位 熊本県) | 県立高松商業高等学校 | (四 国1位 香川県) |
| 33 | 瓊浦高等学校 | (九 州2位 長崎県) | 県立香川中央高等学校 | (四 国2位 香川県) |
| 34 | 県立小林工業・小林秀峰高等学校 | (九 州3位 宮崎県) | 県立天草高等学校 | (九 州1位 熊本県) |
| 35 | 県立大分雄城台高等学校 | (九 州 大分県) | 筑紫女学園高等学校 | (九 州2位 福岡県) |
| 36 | 西南学院高等学校 | (九 州 福岡県) | 県立那覇西高等学校 | (九 州 沖縄県) |
| 37 | 興南高等学校 | (九 州 沖縄県) | 県立鹿児島南高等学校 | (九 州 鹿児島県) |
| 38 | 県立那覇西高等学校 | (九 州 沖縄県) | 県立大分鶴崎高等学校 | (九 州 大分県) |
| 39 | 県立国分高等学校 | (九 州 鹿児島県) | 学校法人松浦学園城北高等学校 | (九 州 熊本県) |
| 40 | 県立鳴門高等学校 | (開催地 徳島県) | 県立城北高等学校 | (開催地 徳島県) |

# 第4回 春の全国中学生選手権大会

## 出場チーム一覧

| 都道府県名 | 出場回数 | 男子 | 出場回数 | 女子 |
|---|---|---|---|---|
| 北海道 | 初 | 函館市立本通中学校 | 3 | 函館市立本通中学校 |
| 青森県 | 2 | 青森県立三本木高等学校附属中学校 | | |
| 岩手県 | 初 | 花巻市立花巻北中学校 | 初 | 花巻市立花巻中学校 |
| 宮城県 | 初 | 仙台市立中田中学校 | 初 | 仙台市立中田中学校 |
| 秋田県 | 3 | 羽後町立羽後中学校 | 3 | 羽後町立羽後中学校 |
| 山形県 | 3 | 尾花沢市立尾花沢中学校 | | |
| 福島県 | 3 | 郡山市立郡山第一中学校 | 3 | 石川町立石川中学校 |
| 茨城県 | 初 | かすみがうら市立千代田中学校 | 3 | 行方市立北浦中学校 |
| 栃木県 | 2 | 野木町立野木第二中学校 | 初 | 下野市立石橋中学校 |
| 群馬県 | 3 | 富岡市立南中学校 | 初 | 富岡市立南中学校 |
| 埼玉県 | 初 | 戸田市立戸田中学校 | 3 | 三郷市立北中学校 |
| 千葉県 | 3 | 市川中学校 | 3 | 千葉市立花園中学校 |
| 東京都 | 初 | 葛飾区立金町中学校 | 4 | 東久留米市立西中学校 |
| 神奈川県 | 初 | 相模原市立大野南中学校 | 2 | 川崎市立西中原中学校 |
| 山梨県 | 初 | 山梨市立山梨北中学校 | 2 | 甲州市立塩山中学校 |
| 新潟県 | | | 初 | 柏刈ハンドボールクラブ・柿崎ハンドボールクラブ |
| 長野県 | 2 | 千曲市立更埴西中学校 | 3 | 茅野市立東部中学校 |
| 富山県 | 3 | 氷見市立北部中学校 | 2 | 氷見市立北部中学校 |
| 石川県 | 3 | 金沢市立西南部中学校 | 2 | 小松市立南部中学校 |
| 福井県 | 2 | 福井市明倫中学校 | 2 | 福井市光陽中学校 |
| 静岡県 | 3 | 静岡市立清水第二中学校 | 初 | 静岡市立清水第二中学校 |
| 愛知県 | 初 | 名古屋市立はとり中学校 | 初 | 東海市立上野中学校 |
| 三重県 | 4 | 鈴鹿市立白子中学校 | 初 | 四日市市立笹川中学校 |
| 岐阜県 | 2 | ヴァルト岐阜 | 2 | 羽島市立羽島中学校 |
| 滋賀県 | 2 | 野洲市立野洲北中学校 | 初 | 立命館守山中学校 |
| 京都府 | 初 | 京田辺市立培良中学校 | 2 | 京田辺市立大住中学校 |
| 大阪府 | 2 | 大阪体育大学附属中学校 | 初 | 豊中市立第九中学校 |
| 兵庫県 | 2 | 神戸市立井吹台中学校 | 初 | 明石市立望海中学校 |
| 奈良県 | 2 | 生駒市立大瀬中学校 | 2 | 生駒市立大瀬中学校 |
| 和歌山県 | 初 | 紀の川市立那賀中学校 | 2 | 紀の川市立荒川中学校 |
| 鳥取県 | 2 | 境港市立第一中学校 | 初 | 境港市立第三中学校 |
| 島根県 | | | | |
| 岡山県 | 初 | 岡山県立倉敷天城中学校 | 初 | 岡山県立倉敷天城中学校 |
| 広島県 | 2 | 安芸高田市甲田中学校 | 4 | 甲田クラブ |
| 山口県 | 初 | 周南市立住吉中学校 | 初 | 下松市立久保中学校 |
| 香川県 | 3 | 高松市立香川第一中学校 | 3 | 高松市立香川第一中学校 |
| 徳島県 | 初 | 鳴門市立鳴門市第一中学校 | 初 | 鳴門市立鳴門市第一中学校 |
| 愛媛県 | 3 | 松山市立久米中学校 | 4 | 松山市立雄新中学校 |
| 高知県 | 2 | 高知市立介良中学校 | 4 | 高知市立城北中学校 |
| 福岡県 | 2 | 福岡市立松崎中学校 | 2 | 福岡市立原北中学校 |
| 佐賀県 | 4 | 神埼市立神埼中学校 | 初 | 神埼市立佐賀清和中学校・神埼中学校 |
| 長崎県 | 2 | 長崎市立日吉中学校 | 2 | 佐世保市立日野中学校 |
| 熊本県 | 初 | 玉名市立玉名中学校 | 2 | 宇土市立鶴城中学校 |
| 大分県 | 2 | 大分市立滝尾中学校 | 初 | 大分市立原川中学校 |
| 宮崎県 | 3 | 小林市立三松中学校 | 2 | 延岡市立延岡中学校 |
| 鹿児島県 | 2 | 霧島市立隼人中学校 | 3 | 霧島市立舞鶴中学校 |
| 沖縄県 | 初 | 浦添市立浦西中学校 | 3 | 浦添市立神森中学校 |
| 開催地 | 4 | 氷見市立南部中学校 | 3 | 氷見市立南部中学校 |

# ～集中力の大切さ学ぼう～

企画・広報委員
早川　文司

フリースロー
Free Throw

今シーズンも大詰め。顧みて、どんなシーズンだったか。球界の歩みにも、反省もあれば、満足感もあるだろう。新シーズンは日本協会をはじめ国際連盟、アジア連盟とも新役員での体制となるが、日本がアジアの表舞台にいっそう立てるようになるか。改選の結果を注目している。

ところで、話題はガラッと変わるが、大相撲初場所の朝青龍の23度目の優勝はだれが予想しただろう。

場所前は休場説から、横綱総見での成績で限界説まで取りざたされた一方で、品格の問題も出たが、それも力でねじ伏せた格好だった。

こうした中で15日間を振り返ってみて、最も支えになったのは、反骨心とだれにも真似の出来ないほどの抜群の集中力、精神力だろう。

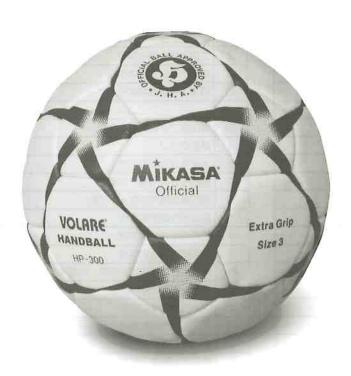
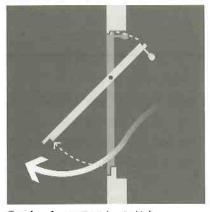
場所中、何番か非難されてもおかしくない取り組みがあったのも事実。腕を振り回し、にらみつけダメ押し…。だが、こういった「けんか相撲」で鮮やかな復活劇をやってのけた。

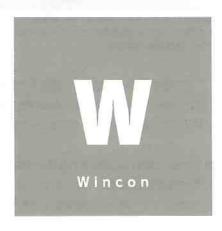
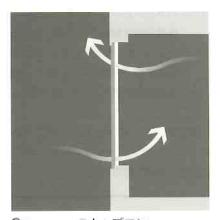
確かに、朝青龍の言動、行動には、いろいろな見方があるだろう。しかし、国技館が沸きかえり、テレビの視聴率アップなどを思えば、やはり大相撲界のヒーローであることは間違いあるまい。

最も注目したのは、先にも触れた「反骨心」と「集中力」である。スポーツの勝負で結果につながるものには多くの要因が挙げられる。卓越した技術が最も大切だ。しかし、技術だけで、常にトップを維持できるかと言うと難しい。コンディションもある。ツキも必要だ。いろんな要素が絡み合って好結果につながるのだと思う。

そうした時に、ウエートが高いのが集中力、反骨心ではなかろうか。立ち会い直前の朝青龍の「鬼の形相」は、まさに反骨心と集中力以外の何者でもないような気がする。

それを15日間持続するのは、容易なことではないはずだ。それでも「見返してやる」といった土俵には、共感を覚えた大相撲ファンは多かったはずである。

ハンドボールに限らずスポーツ界では、敗者から「精神力で相手が上手だった」とか言う言葉を聞くことがある。それでは最初から勝てないのではないだろうか。力は相手が勝っていても、強い気持ちで立ち向かう気迫があれば、ハードルをクリア出来るチャンスはある。どんな勝負でも、強い気持ちでぶつかることが大切だ－そうしたことを初場所の土俵を盛り上げた朝青龍が教えてくれたような気がしてならない。

# 呼吸する建築

**Swindow**●スウィンドウ
わずかな風圧も捉えて自然に開閉し、室内外の温度差で効率の良い換気が行えるバランス式逆流防止窓。

**Wincon**●ウィンコン
内蔵の調節弁により、風の強弱に影響を受けにくく、定風量で換気が行えるヨコ型定風量換気スリット。

**Cavcon**●キャブコン
内蔵の調節弁により、強風時でも一定の風量で換気ができ、無風時でも内外の温度差による重力換気が行えるタテ型定風量換気スリット。

## NAV WINDOW 21

「呼吸する建築」。それは人が呼吸をするように
建築が自然に空気を取り入れ、建物内部の空気を新鮮に保ち
不要なものを排出するシステムを持つことです。
自然換気システム＝NAV WINDOW 21は
これまでの建築の機械空調と共存し
建物を取り囲む風を読み、建物内に風の道を作りそれを状況の変化に
あわせて制御する画期的な換気システムです。

三協立山アルミ株式会社
東京本社／〒164-8503 東京都中野区中央1-38-1
住友中野坂上ビル20F〈環境商品部〉 TEL (03) 5348-0367
インターネットホームページ http://buildingsash.net/

# 2008 EHF Wheelchair Handball Event セミナーに参加して

会長　小西 博喜

2008年10月10日、11日、12日オーストリアのViennaにて開催されました　EHF Wheelchair Handball Eventセミナーに於いて、「日本における車椅子ハンドボールの現状について、また、パラリンピックへの発展的課題について」の発表と質疑応答（約10分）をする機会があり、その状況について報告を致します。

左から、EHF方法委員会 F.タボルスキー委員長、EHF事務局 ニコル・ヒュング、オーストリアハンドボール協会会長 ヘルムト・ケーニック、日本車椅子ハンドボール連盟会長 小西博喜

（1）　日本における車椅子ハンドボール競技に関する国際的評価は高く、今までの実績と今後の活動計画が認められたものと考えられる。

（2）　今回のEHFのセミナーはヨーロッパにおけるセミナーとして、国際的視野のEVENT内容であり、ヨーロッパ・アジア地域における競技規則の統一をどのように図ればよいか具体的に検討された。

（3）　各国の競技規則についての調整を図ることが先決であるため、ヨーロッパ・アジア地域における具体的な問題を比較検討し検証された。例えばコートの大きさ、ゴールポストの大きさ、ゴールエリア、ボールの大きさ、ボールの特性（硬さ、柔らかさ、素材、バウンドの変化）、競技時間、交代ライン、競技人数、ドリブル（最大3回まで"フランス"認めてはどうか）などについて協議した。

（4）　ヨーロッパ･アジア地域における車椅子ハンドボール競技発展の目標は、パラリンピック種目に採用されることである。今回のセミナーはEHF車椅子ハンドボール競技のパラリンピック実現に向けての総括的な国際ルールとして、ヨーロッパと日本における主要な競技規則についての協議がなされたのは良かった。したがって、統一的な解釈ができたものと考えられる。

（5）　日本車椅子ハンドボールは約30～40チームが存在していると思われるが、全部が集合することは不可能である。理由の一つは参加するための費用が高いことである。

（6）　パラリンピックの基本的な規則として選手全員が障害者であることが必要であるが、現状では、車椅子ハンドボール競技者全員を障害者にすることは不可能である。それはハンドボールに対する興味と関心がその段階に達していないからである。そのためには1人でも多くの愛好者を増やすことが大切であり、時間と努力が必要となる。したがって、健常者、障害者が合同でチームを作り、老若男女の遊びの中で競技を楽しむことから始めることが必要ではないかと考える。

（7）　本年は障害者または女性のどちらか1名が常にコート上でプレーすることを取り決めた。

帰国後、去る10月14日リバプールハンドボールクラブより2009年5月23・24日第9回リバプールハンドボールクラブ インターナショナルハンドボールフェスティバルの案内があった。〈種別〉男子・女子・車椅子・ベテラン男子・ベテラン女子の5種目で開催される。

# チャレンジリーグ2008に参加して

審判審査指導委員会委員長　越田 義昭

チャレンジリーグ2008（日本リーグ機構主催）が、平成20年11月28日（金）～30日（日）に、名古屋市のプラザー工業体育館、大同特殊鋼体育館で開催されました。この大会は、日本リーグ開催期間中の合間を縫っての３日間のゲームでしたが、日本リーグ（女子の部）６チームと実業団１チームの合計７チームが参加しました。大会期間中、市原則之日本リーグ機構会長が選手を激励するために駆けつけてくださいました。

審判審査指導委員会ではこの大会を利用して、若手レフェリーの研修を行いました。20名が参加し、内女性は４名でした。将来の日本リーグ担当への登竜門とされる研修会なので吹笛にもひとしお真剣さが感じられました。また、ゲーム終了後、審査委員への質問、先輩レフェリーへの問いかけ等も積極的に行われていました。どのレフェリーもゲームを重ねるたびに熟練していく様子が手に取るように分かり、この研修を通して今後の協会を支えていく人材が育っていることを改めて実感しました。レフェリー諸君の今後の活躍に期待したいと思います。

以下は、レフェリー育成のため御指導、御助言等の御協力をいただいた参加チームと監督の方々です。（順不同）

| | |
|---|---|
| オムロン | 洪廷昊氏（監督代行） |
| ソニーセミコンダクタ九州 | 緒方嗣雄氏 |
| 北國銀行 | 荷川取義浩氏 |
| 広島メイプルレッズ | 呉龍基氏 |
| 三重バイオレットアイリス | 田口隆氏 |
| ＨＣ名古屋 | 田中俊行氏 |
| 香川銀行 | 亀井好弘氏 |

最後に、会場の準備といろいろな面で御協力いただいた田中俊行氏、東海ブロック審判長・楓健児氏に誌面をお借りしてお礼を申し上げます。

# スーパープレーを見せる スポーツ選手たちを支えた

NEW

原寸大：W45mm×D17mm×H70mm

いつでもどこでも自分の体を自分でケアする「フルタイム・セルフケア」という発想から生まれた、ITOのポータブル低周波治療器「アスリートmini」。トレーニングで損傷した筋肉に、3つの電気刺激モードが効果的に働きます。ライバルを、そして自分をもっと超えていくために。この小さなボディに盛り込まれた先進のテクノロジーが、戦うあなたを力強くサポートする。

## ATHLETEmini

アスリートmini　管理医療機器(特定保守管理医療機器)クラスII
低周波治療器　医療機器認証番号 220A[illegible]

## 50g 超軽量

本体重量わずか50g（充電池含む）、サイズも極小。ITOの技術が、今までになかった超軽量・コンパクトな低周波治療器を実現しました。

## 12時間 連続使用

リチウムイオンバッテリーにより、最大12時間の連続使用が可能。この小ささで、スタミナも一流です。

## 3つの治療モード COMB / PAIN / CARE 鎮痛・治癒

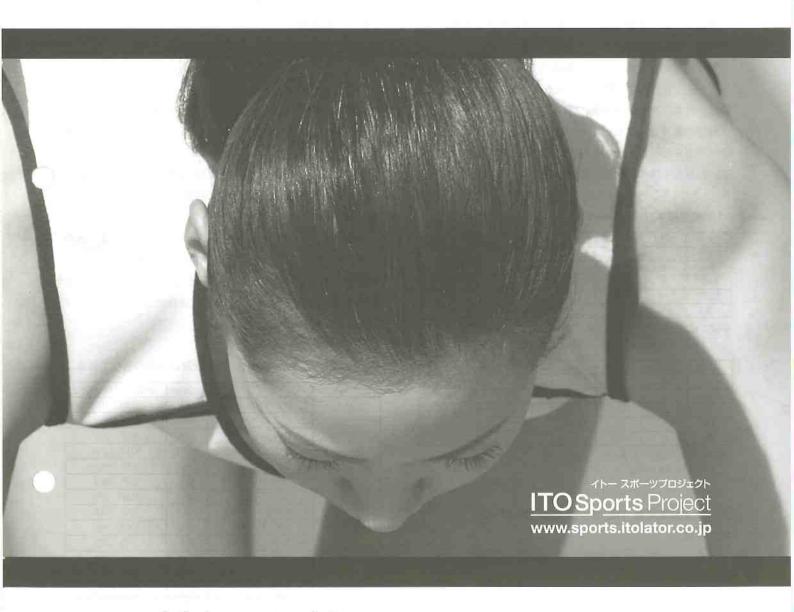
● COMB〈鎮痛+治癒〉 Allタイムケア
トレーニングを終えた全てのアスリートに効果的な、鎮痛と治癒を組み合わせたケアモードです。

● PAIN〈鎮痛〉 ONタイムケア
トレーニング中など、現場で起こった捻挫や筋肉・関節の痛みといった急なアクシデントに有効です。

● CARE〈治癒〉 OFFタイムケア
移動中や休憩中などの体を休めている時にも、トレーニングで損傷した筋組織の治癒を促進します。

たい。

つねに最高のコンディションを保ち、ケガをした場合はより早くベストな状態へ回復することが彼らの大きな課題です。医療の分野だけではなく、こうしたスポーツ選手をサポートするために、私達の物理療法機器が活躍しています。日本を代表する選手をはじめ、さまざまなシーンで活躍する選手を幅広くサポートすること。私達は医療とスポーツの両分野で培った経験を活かして、これからもスポーツの世界を積極的に応援していきます。

イトー スポーツプロジェクト
ITO Sports Project
www.sports.itolator.co.jp

## 皆さまとともに90年以上、伊藤超短波はこれからもアスリートを応援していきます。

お問い合せ等はこちらまで。お気軽にお問い合せください。

伊藤超短波株式会社
東京都練馬区豊玉南3-3-3 http://www.itolator.co.jp/

メディカル事業部
本 社:〒113-0001 東京都文京区白山1-23-15
TEL. 03(3812)1216(代)・FAX. 03(3814)4587

営業所:

| | TEL | FAX |
|---|---|---|
| 盛岡 | TEL. 019(634)1401 | FAX. 019(634)1341 |
| 仙台 | TEL. 022(306)7667 | FAX. 022(306)7688 |
| 東東京 | TEL. 03(3812)1217 | FAX. 03(3814)4587 |
| 西東京 | TEL. 03(3812)1218 | FAX. 03(3814)4587 |
| 名古屋 | TEL. 052(701)4515 | FAX. 052(701)6905 |
| 東大阪 | TEL. 072(242)1041 | FAX. 072(242)1040 |
| 西大阪 | TEL. 072(242)1043 | FAX. 072(242)1040 |
| 広島 | TEL. 082(506)1421 | FAX. 082(263)9070 |
| 福岡 | TEL. 092(573)6053 | FAX. 092(573)0218 |
| デンタル部門 | TEL. 03(3812)4151 | FAX. 03(3814)4587 |

# 第12回アジア女子選手権大会兼 第21回女子世界選手権大会予選のＴＤ参加所見

(12th Asian Women's Championship 2008, Bangkok, Thailand 21—30 November 2008)

IHF & AHF / MC 委員　西山逸成

## 1．大会概況；

標記大会は日本参加の 10 ヶ国が２グループで予選リーグを行い、準決勝および順位決定戦が実施された。

競技結果から日本チームは韓国・中国に次いで第３位となり、中国が世界選手権開催国であるためアジア出場枠３つを韓国、日本、タイが出場権を獲得した。

優勝の韓国は、スピード・テクニック等、アジア地域では圧倒的強さを示し、予測どおりに第１位でアジア選手権と共に、世界選手権の出場権も獲得した。

### （1）競技結果（予選リーグ）；

| GP A | 順位 | 総得点 | 失点 | 得失点差 | 全試合得点／平均 |
|---|---|---|---|---|---|
| KOR | 1 | 176 | 97 | 79 | 249 / 41.5 |
| JPN | 3 | 147 | 96 | 51 | 221 / 37.0 |
| KAZ | 5 | 135 | 93 | 42 | 198 / 29.6 |
| UZB | 10 | 78 | 157 | -79 | 78 / 19.5 |
| IRI | 7 | 82 | 175 | -93 | 96 / 19.2 |

A/GP：KOR（韓国）　JPN（日本）　KAZ（カザフ共和国）
UZB（ウズベク共和国）　IRI（イラン）

| GP B | 順位 | 総得点 | 失点 | 得失点差 | 全試合得点／平均 |
|---|---|---|---|---|---|
| CHN | 2 | 169 | 61 | 108 | 221 / 37.0 |
| THA | 4 | 121 | 110 | 11 | 144 / 24.0 |
| IND | 8 | 108 | 136 | -28 | 76 / 19.0 |
| QAT | 9 | 82 | 147 | -65 | 78 / 19.5 |
| VIE | 6 | 106 | 132 | -26 | 114 / 22.8 |

B/GP：CHN（中国）　THA（タイ王国）　IND（インド）　QAT（カタール）
VIE（ベトナム）

### （2）大会参加役員（TD/ テクニカル・デレゲート）；

AHF 代表：

Mr.Bader Al-Theyab（KUW）　Dr. Ahmed Abu Al-Lail（KUW）

Technical Committee：

Mr.Ameen Albrawani（OMN）　Mr.Zuhir Samha（SYR）
Mr.Khalaf Al-Enezi（KUW）　Dr.Issei Nishiyama（JPN）
Mr.Dawud Tawakoli（Iran）　Mr.Surinder Bali（IND）
Mr. Yotsapol Sukumolnan（THA）

Secretary：

Mr.Mohamed Nizamudeen（IND）・・・Mr Ehab Noor 退職

Referee AHF：

Mr.Nasir Tanji（SYR）　Mr.Yahya Alaydi（SYR）
Mr.Omar Aimarzooqi（UAE）　Mr Mohammed Qamber（UAE）
Mr.Moamar Alwatani（BRN）　Mr.Mohammed Qamber（BRN）
Mr.Ahmed Almutawa（KUW）　Mr.Jaim Alsuailm（KUW）
Mr.Chatchai Sangsukkeelak（THA）　Mr.Kitisak Klangdit（THA）
Ms.Liu Fengiuan（CHA）　Ms.Liu Shuyong（CHA）

IHF からの派遣：

Mr.Per Olesen（DEN）　Mr.Lars Pedersen（DEN）

### （3）試合担当 TD / Referee；

AHF/6 ペアに加え、IHF/1 ペア（Denmark）が大会２日目から参加し、本大会 27 試合中、４試合を担当した。IHF からの TD & Referee 派遣はチームマネージャーミーティングで紹介されなかった。AHF/TD 主務者の Mr. Khalaf Al-Enezi は "IHF から Referee 派遣の連絡は承知していた" とは、筆者の質問に答えていた。

Referee と TD（テクニカルデレゲート）の決定は、毎朝のテクニカルミーティングで通告されたが、最終日の１・２位＆３・４位決定戦の Refree&TD は AHF の慣習として試合開始前の発表であるため、全役員は試合開始 30 分前にオフシャル席に集合した。

### （4）27 試合の Referee&TD、得点状況は下表の通りである。

| 曜日・日／月 | NO・組合せ・得点 | Referee | Technical Delegate |
|---|---|---|---|
| Fri.21 / 11 | 1. KOR 57-26 UZB | CHN | SYR / IND |
| | 2. KAZ 41-18 IRI | THA | KUW / KUW |
| | 3. THA 34-23 QAT | BRN | SYR / IND |
| | 4. CHN 42-12 IND | KUW | KUW / JPN |
| Sat.22 / 11 | 5. JPN 47-14 UZB | CHN | SYR / IND |
| | 6. CHN 38-14 QAT | SYR | SYR / IND |
| | 7. IND 27-29 VIE | DEN | KUW / JPN |
| | 8. KOR 32-29 KAZ | UAE | SYR / THA |
| Sun.23/ 11 | 9. JPN 42-20 IRI | BRN | SYR / THA |
| | 10. THA 29-20 VIE | SYR | SYR / IND |
| Mon.24/ 11 | 11. IND 37-23 QAT | CHN | SYR / THA |
| | 12. KAZ 42-12 UZB | THA | SYR / IND |
| | 13. KOR 4815 IRI | KUW | KUW / JPN |
| | 14. CHN 54-19 VIE | DEN | SYR / THA |
| Tue.25 / 11 | 15. JPN 31-23 KAZ | SYR | THA / IRI |
| | 16. THA42-32 IND | UAE | SYR / JPN |
| Wed.26/ 11 | 17. UZB 26-29 IRI | SYR | SYR / JPN |
| | 18. KOR 39-27 JPN | DEN | THA / IRI |
| | 19. CHN 35-16 THA | BRN | IND / IRI |
| | 20. QAT 22-38 VIE | THA | THA / SYR |
| Fri.28 / 11 | 21. KOR 38-17 THA | BRN | SYR / JPN |
| | 22. CHN 29-28 JPN | DEN | THA / IRI |
| Sat.29 / 11 | 23. UZ 放棄 QAT | THA | IRI / JPN |
| | 24. IRI 34-30 IND | SYR | SYR / THA |
| | 25. KAZ 43-18 VIE | UAE | SYR / IND |
| Sun.30 / 11 | 26. JPN 39-16 THA | CHN | IRI / IND |
| | 27. KOR 35-23 CHN | UAE | IRI / SYR |

## 2. AHF & IHF に対する要望・意見；

### (1) ドーピング・コントロールの背景・実情について；

本大会当初の「チームマネージャー・ミーティング」開会の前に AHF 代表者 (Dr.Abu Al-Lail) から筆者 (AHF/MC) 担当者) に対し、“本大会における DOPING CONTROL はタイ国協会＆大会組織委員会の経済的理由等から実施が出来ないので、実施を予測できる環境を作為して欲しい” 旨の依頼を受けて、コート入り口の救護室ドアーに「DOPING CONTROL ROOM」を標示し、筆者は 27 試合全てをオフィシャル席 (DCO) に常在した。

AHF 主催大会におけるドーピング検査の実施の決定が、従来から IHF 主務者と組織委員会との間で調整されたものでなく、AHF の一方的判断で行うことは、WADA (世界アンチドーピング機構)や IHF の意向を無視したものと言える。

したがって筆者は、毎回 “少なくとも世界選手権予選大会である以上は、IHF/MC の筆者に対し、出国前にドーピング検査の有無を連絡されたい” 旨を大会参加ごとに AHF/TD に要望している状況である。(IHF も AHF も全く返信なし)

### (2) AHF 主催大会・会議・ミーティングへの日本役員の積極参加の要望；

① AHF/TD の本大会主務者の Mr. Khalaf Al-Enezi に対し、西山 (AHF/MC) から以下の私的要望を提示した。
“JHA に対する Referee 指名に同意を得られなかった場合、その Referee 所属国に他の Referee 推薦権を与えられることを要望した。

② AHF/TD の Mr. Khalaf Al-Enezi (KUW) から西窪団長への要望として、“2008 年度の AHF 主催大会に Referee を要望したが、1 回の参加も得られなかった。東アジアからも是非参加を要望したい。2009 年 2 月には、アジアクラブリーグ (サウジアラビア) への Referee 指名を予定しているので是非派遣されたい。” が田中コーチ (通訳) を介して伝えられた。

③日本から AHF 役員は渡辺佳英第 1 副会長他、COC(大会組織委員会)、PRC(規則・審判委員会)、CCM(コーチング・方法委員会)、MC (医事委員会)、MKC (マーケティング委員会) の計 6 名が参画している現状であるので、その情報交換量を背景にした問題点の解決には有用なパワーとなりうることを念じて止まないところである。是非活用を望みたい。

AHF 役員交代期には、副会長・委員だけの要望ではなく、Council Menber (理事会) にも是非申し入れして欲しいところである。

韓国からの AHF 役員参加状況は、理事 (1)、COC (1) である。

## 3. BANGKOK 国際空港事件 (11 月 25 日～) に接して；

大会期間中の 11 月 25 日に発したバンコク国際空港事件は大会役員・選手団の活動に大きな影響を与えた。筆者は大会期間中の 11 月 27 日から IHF/MC ミーティング (バーゼル／スイス) 参加予定であったが、空港閉鎖のため、そのまま大会役員として BANGKOKU 滞在となった。

筆者の帰国処理は、大会組織委員会から選手団に移され、終始、西窪団長の御配慮により 12 月 1 日 16：00ANA 便により日本選手団と共に海軍飛行場から帰国できたことに感謝申し上げたい。

# 第７回ハンドボールコーチング研究会の開催にあたり

ハンドボールコーチング研究会代表　田中　守（福岡大学スポーツ科学部）

前代表の平岡秀雄先生が、本研究会の立ち上げに大変なご尽力をされ、その第１回目を開催したのが熊本県の山鹿市でした。日本ハンドボール協会の指導委員会が企画する「コーチシンポジウム」に併せて、夜に山鹿温泉宿の座敷で開催したのが最初です。

十数名の有志によりスタートした研究会ですが、まさに指導委員会の中の専門員委員会であるように、その主旨は「ハンドボールコーチングに日夜努力する現場の指導者が議論し、競技力を高めるための道筋を見出すこと」（平岡氏）にあります。決して、研究者の実績づくりではありません。福岡大学の男女チームを指導しながら現場に生かす研究をモットーにしている私には、とても嬉しい発表と議論の場であり、有志に加えていただいたことを光栄に思っています。

第１回研究会から、私自身や私の研究室の助手・大学院生、あるいは私が日本代表チームを支援する日本ハンドボール協会情報科学委員会（その前のスポーツ医科学委員会から）の一員であることから関係の委員も含めて、毎回研究発表してきていることから、前代表の平岡先生より代表を引き継ぐよう要請されました。

研究会発足の主旨を継承し、「現場に生かす研究の発表と議論の場づくり」を主眼に、多くの指導者や研究者が参集する場にしていきたいと考えています。コーチシンポジウムとも連動させながら進めていきたいとも考えています。

今回は、第７回目になります。一昨年から、村松誠教授のご協力を得て、駒澤大学で実施しています。本年も同様、日本リーグ男女プレーオフ（3月14日［土］、15日［日］）に併せて研究会を開催します。一昨年の研究会で了解されておりますが、本年も引き続き学部生等（参加のみで発表出来ない）の参加も可能です。多くの参加を期待します。

改めて、本研究会は学術的な研究を中心としたものではなく、指導者の経験・知見を持ち寄り、伝え合う場です。発表方法や研究方法を議論するのではなく、自分の考える指導法の有効性や動作・ゲーム分析の視点などコーチが抱える問題を議論し、助言して助け合う機会として利用されること（平岡氏）を特に希望します。

もちろん、学術的にも評価される研究の場でありたいとも考えています。そこで、本研究会の発表原稿は「抄録」として扱っています。これは、本研究会で発表して頂いた内容を論文形式に手直しし、ハンドボール協会誌「ハンドボール研究」に原著論文として発展させ、投稿して頂けることを期待してのものです。

この研究会が今後益々発展し、先生方だけでなく多くのコーチを巻き込み、ハンドボールの指導・分析視点や事例を発表して頂き、コーチの資質を切磋琢磨していきたいと考えます。

1．大会期日：2009年3月14日（土）　15日（日）　9時～11時30分
2．大会場所：駒澤大学　〒154-8525 東京都世田谷区駒沢1-23-1

【問合せ】ハンドボール研究会担当　舎利弗学（学校法人福島高等学校）
E-mail:manabu@mopera.ne.jp　TEL :090-3147-4978（携帯）

# ドクター・水素水 ―― 特殊セラミック＆エンバランスTスティック
簡易型水素発生「生」水器（水素発生ミネラルスティック）

# 豊富な水素が 水を変える！

フレンディアはJADMA（日本通信販売協会）の正会員です。
JADMA 社団法人日本通信販売協会会員

## 健康は毎日の飲料水から…

※本製品は改良のため予告なく仕様・デザインを変更する場合があります。

500mlのお水にドクター・水素水スティック１本を投入。
約120分後、水温21度における容存水素量0.48ppm。（当社測定値）

日本医学交流協会医療団
（ＮＰＯ認証 東京都）

当商品は認定を受けています。
http:/www.drp.ne.jp/で認定確認できます。

特許公開番号：2004-41949
韓国特許登録：529006号
米国特許番号：7189330

原材料／金属マグネシウム、天然石
サイズ／19×132mm

価格／1箱4本入り 13,440円（税込み）

水の入ったペットボトルなどの容器にスティックを入れるだけ。
**2リットルの水道水にこれ１本！**
しかも**6ヶ月と長持ち**です。
１日2リットル作ったとして、
**たったの24円**と経済的。

株式会社フレンディア
〒107-0062東京都港区南青山5-10-13 デコパージュ南青山4F
TEL:03-5948-5011 FAX:03-5948-5263
フリーダイヤル 0120-372-132（みんなに いーみず）

株式会社フレンディアのウェブサイトを併せてご覧ください。
http://www.dr-suisosui.com

# スコアールーム ①

## 第17回 JOC ジュニアオリンピックカップ

開催期日：2008年12月25日（木）～28日（日）
会　　場：大阪府・堺市家原大池体育館、堺市金岡体育館、堺市原池公園体育館

### 【男　子】

▼予選リーグA組
福井県 42（17－12、25－17）29 兵庫県
福井県 38（21－13、17－10）23 岐阜県
岐阜県 29（18－13、11－14）27 兵庫県

▼予選リーグB組
熊本県 20（11－9、9－7）16 群馬県
岡山県 33（13－12、20－20）32 群馬県
熊本県 28（16－9、12－17）26 岡山県

▼予選リーグC組
香川県 33（17－14、16－17）31 茨城県
香川県 29（9－12、20－15）27 福島県
茨城県 31（16－12、15－18）30 福島県

▼予選リーグD組
福岡県 27（12－12、15－14）26 大阪府
大阪府 38（22－7、16－9）16 鳥取県
福岡県 30（16－9、14－14）23 鳥取県

▼予選リーグE組
山口県 34（16－9、18－13）22 京都府
沖縄県 30（13－11、17－16）27 山口県
沖縄県 37（20－16、17－20）36 京都府

▼予選リーグF組
岩手県 31（14－12、17－18）30 埼玉県
岩手県 33（17－7、16－7）14 高知県
埼玉県 34（15－11、19－12）23 高知県

▼予選リーグG組
富山県 29（12－11、17－16）27 宮崎県
宮崎県 44（19－14、25－10）24 北海道
富山県 30（11－10、19－16）26 北海道

▼予選リーグH組
愛知県 42（17－11、25－13）24 和歌山
愛知県 36（14－8、22－11）19 千葉県
千葉県 35（17－11、18－15）26 和歌山県

▼準々決勝
熊本県 24（10－12、11－9、3－2）23 福井県
福岡県 25（8－10、14－12、3－2）24 香川県
沖縄県 33（15－15、18－17）32 岩手県
愛知県 25（11－11、14－11）22 富山県

▼準決勝
熊本県 25（14－5、11－13）18 福岡県
沖縄県 33（14－17、19－14）31 愛知県

▼決　勝
沖縄県 33（18－14、15－12）26 熊本県

※沖縄県選抜は2年ぶり6回目の優勝

### 【女　子】

▼予選リーグA組
山口県 35（18－7、17－9）16 宮崎県
山口県 42（22－5、20－4）9 宮城県
宮崎県 26（12－7、14－4）11 宮城県

▼予選リーグB組
石川県 24（11－10、13－7）17 群馬県
大阪府 22（12－9、10－12）21 石川県
群馬県 38（22－12、16－10）22 大阪府

▼予選リーグC組
香川県 21（12－9、9－9）18 熊本県
富山県 23（8－8、15－13）21 熊本県
富山県 29（13－6、16－12）18 香川県

▼予選リーグD組
兵庫県 38（12－12、26－18）30 千葉県
兵庫県 32（14－9、18－12）21 岐阜県
千葉県 27（14－10、13－12）22 岐阜県

▼予選リーグE組
埼玉県 25（13－4、12－9）13 大分県
埼玉県 39（19－5、20－8）13 秋田県
大分県 29（16－5、13－5）10 秋田県

▼予選リーグF組
京都府 32（16－9、16－12）21 愛知県
愛知県 33（16－7、17－8）15 北海道
京都府 49（27－6、22－5）11 北海道

▼予選リーグG組
沖縄県 23（9－5、14－3）8 福島県
福島県 19（7－8、12－8）16 岡山県
沖縄県 28（14－3、14－6）9 岡山県

▼予選リーグH組
福井県 25（13－12、12－9）21 東京都
福井県 33（23－3、10－10）13 和歌山県
東京都 38（23－7、15－13）20 和歌山県

▼準々決勝
山口県 31（16－9、15－7）16 群馬県
兵庫県 33（17－14、14－17、2－1）32 富山県
埼玉県 29（12－10、17－12）22 京都府
福井県 31（17－13、14－7）20 沖縄県

▼準決勝
山口県 31（13－13、18－11）24 兵庫県
福井県 25（13－10、12－12）22 埼玉県

▼決　勝
山口県 18（12－4、6－8）12 福井県

※山口県選抜は14年ぶり2回目の優勝

保険内容を改定しました

傷害保険 | 賠償責任保険 | 共済見舞金

# スポーツ安全保険

**対象となる事故** 団体活動中の事故／往復中の事故

**保険期間** 平成21年4月1日午前0時より平成22年3月31日午後12時まで（申込受付は平成21年3月から）

5名以上の団体でご加入ください

## 加入区分・掛金・補償金額（団体活動を行う5名以上の方々で、加入区分をそれぞれお選び頂いてご加入ください。）

| 加入対象者 | 補償対象となる団体活動等 | 加入区分 | 年間掛金（一人当たり） | 傷害保険金額 死亡 | 傷害保険金額 後遺障害（最高） | 傷害保険金額 入院（日額） | 傷害保険金額 通院（日額） | 賠償責任保険 てん補限度額（免責金額なし） | 共済見舞金 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 子ども（中学生以下（特別支援学校高等部の生徒を含む。）） | 団体活動全般（スポーツ・文化・ボランティア・地域活動など） | A1 | 600円 | 2,000万円 | 3,000万円 | 4,000円 | 1,500円 | 身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は 1人 1億円 | 突然死（急性心不全 脳内出血など）180万円 |
| 子ども（中学生以下（特別支援学校高等部の生徒を含む。）） | 団体活動全般 | AW | 1,150円 | 2,100万円 | 3,150万円 | 5,000円 | 2,000円 | 身体・財物賠償 合算 1事故 5億500万円 ただし、身体賠償は 1人 1億500万円 | 突然死（急性心不全 脳内出血など）180万円 |
| | | | | 日射・熱射病及び細菌性・ウイルス性食中毒の場合、保険金額はA1区分と同様 | | | | | |
| 子ども（中学生以下（特別支援学校高等部の生徒を含む。）） | 上記以外（個人活動・個人練習など） | AW | 1,150円 | 100万円 | 150万円 | 1,000円 | 500円 | 身体・財物賠償 合算 1事故 500万円 | 対象となりません |
| | | | | 日射・熱射病及び細菌性・ウイルス性食中毒は対象となりません。 | | | | | |
| 大人 高校生以上 | 文化・ボランティア・地域活動 団体員の送迎、応援、準備、片付け | A2 | 600円 | 2,000万円 | 3,000万円 | 4,000円 | 1,500円 | 身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は1人 1億円 | 突然死（急性心不全 脳内出血など）180万円 |
| 大人 高校生以上 | スポーツ活動 スポーツ活動の指導 | C | 1,600円 | 2,000万円 | 3,000万円 | 4,000円 | 1,500円 | 身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は1人 1億円 | 突然死（急性心不全 脳内出血など）180万円 |
| 大人 高校生以上 | 子どものスポーツ活動の指導限定 ※C区分でも加入可 | AC | 1,100円 | 1,000万円 | 1,500万円 | 2,500円 | 1,000円 | 身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は1人 1億円 | 突然死（急性心不全 脳内出血など）180万円 |
| 大人 65歳以上 | スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない方はA2区分 | B | 800円 | 600万円 | 900万円 | 1,800円 | 1,000円 | 身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は1人 1億円 | 突然死（急性心不全 脳内出血など）180万円 |
| 全年齢 | 危険度の高いスポーツ活動 | D | 9,000円 | 500万円 | 750万円 | 1,800円 | 1,000円 | 身体・財物賠償 合算 1事故 5億円 ただし、身体賠償は1人 1億円 | 突然死（急性心不全 脳内出血など）180万円 |

※同一団体で1口しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入換え、加入区分の変更はできません。
※掛金には（財）スポーツ安全協会で運営する「共済見舞金制度」の掛金、1人20円が含まれています。
※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

**インターネットからの加入受付を行っております。詳しくは、ホームページをご覧ください。** Web スポーツ安全協会 検索

## 財団法人 スポーツ安全協会

〒105-0001 東京都港区虎ノ門1丁目12番1号 03-5510-0022

保険の詳しい内容、資料の請求は、ホームページをご覧ください。

**http://www.sportsanzen.org**

●資料請求は、インターネットより受付けております。

〈幹事会社〉
東京海上日動火災保険株式会社 公務第2部第1課 TEL 03-5223-2607（平日9:00～17:00）
〈共同引受保険会社（平成21年4月予定）〉※予告なく変更となる場合があります。
あいおい損害 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動
日新火災 ニッセイ同和損害 日本興亜損害 富士火災 三井住友海上

この広告はスポーツ安全保険（スポーツ安全協会傷害保険特約付帯普通傷害保険、スポーツ安全協会賠償責任保険特約付帯施設賠償責任保険等）の概要についてご紹介したものです。保険の内容は「スポーツ安全保険のあらまし」をご覧ください。詳細は保険約款および特約書によりますが、ご不明の点がございましたら（財）スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険㈱までお問い合わせください。

平成20年12月作成 1310-08-091

## がんばれハンドボール10万人会「サポート会員」1月入会・継続会員

【岩手】多田　和生　【茨城】榎本　志穂　【埼玉】遠藤　健次　【千葉】大森　優美、窪田　優　【東京】伊東　卓、齊藤　慎、山田　由美、飯田　信行、西岡　雅樹、大場　信吾　【京都】石井　惇史、廣瀬　佳代　【大阪】長嶺　利昭　【奈良】木村　和正、木村　加代　【岡山】小林　裕子

## 【3月の行事予定】

【会議】……………………………………………………………

3月20日（金・祝日）　理事会（東京）

【大会】……………………………………………………………

3月14日（土）～15日（日）
第33回日本リーグプレーオフ（東京・駒沢体育館）

3月25日（水）～30日（月）
第32回全国高校選抜大会（徳島市・徳島市立体育館ほか）

3月26日（木）～29日（日）
第４回春の全国中学生選手権大会
（富山県氷見市・氷見ふれいあいスポーツセンターほか）

## ANACUP　第33回日本リーグプレーオフ

【日程】3月14日（土）
13時～：女子プレーオフ準決勝
（通算2位）vs（通算3位）
15時～：男子プレーオフ準決勝①
（通算1位）vs（通算4位）
17時～：男子プレーオフ準決勝②
（通算2位）vs（通算3位）
3月15日（日）
13時～：女子プレーオフ決勝
（通算1位）vs（準決勝勝者）
15時15分～：男子プレーオフ決勝
（準決勝①勝者）vs（準決勝②勝者）

【会　　場】東京・駒沢体育館

【チケット】

| | |
|---|---|
| アリーナ | 2,800円 |
| 一般・大学生 | 2,000円 |
| 中・高校生 | 1,000円 |
| 小学生以下 | 500円 |

※前売り券は「チケットぴあ」にて販売中。

## 第21回男子世界選手権大会結果

【日　程】2009年1月16日～2月1日

【開催国】クロアチア

【順　位】1位　フランス
2位　クロアチア
3位　ポーランド

## HANDBALL CONTENTS Mar.


ハンドボールの高まりと広がりを願って……角　紘昭　1
第17回JOCジュニアオリンピックカップ2008
大会を終えて……………………………………逢坂静男　2
大会参加選手の感想…………………………………… 3
男子優勝
沖縄県選抜／監督・東江正作、主将・東江雄斗…4
女子優勝
山口県選抜／監督・林　孝志、主将・福永彩香…5
戦　評………………………………………………… 6
Photo Snap …………………………………………… 7
2008年度NTSセンタートレーニング報告 …関　健三　8
第32回全国高校選抜大会出場校……………………10
第4回春の全国中学生選手権大会出場校 ……………11
フリースロー：集中力の大切さを学ぼう……早川文司　12
日本車椅子ハンドボール連盟報告……………小西博喜　14
審判部報告：チャレンジリーグ2008に参加して
……………………………………………………越田義昭　15
医事委員会だより：
第12回アジア女子選手権大会TD参加所見…西山逸成　18
第７回ハンドボールコーチング研究会の開催にあたり………20
スコアールーム：
第17回JOCジュニアオリンピック …………………………22
10万人会１月会員／３月の行事予定／第33回日本リーグプレーオフ告知／目　次…………………………………………24


（登録チームの購読料は登録料に含む）

# JAPAN、名品の系譜。

機能だけではない、風格のようなものがなければならぬ。
先端のテクノロジーでさらにパワーアップした機能を備えて
新しくなったスカイハンドJAPANシリーズ。
グリップ力に優れた国産ラバー採用のJAPANラバーソールと、
しなやかで通気性のあるエクセーヌを使ったカラーアッパーに
ソール前足部のベンチレーションホール等々。
インドアを制するミドルカットとローカットが揃った。

## 足入れ感を高めてクラシカルな名品復刻モデル。

**スカイハンド® JAPAN-MT**
THH514 ¥16,800(本体¥16,000)
● カラー：5093 ネイビーブルー×シルバー
● サイズ：23.0〜29.0cm

## 名品スカイハンドSPのフォルムを受け継いだローカットモデル。

**スカイハンド® JAPAN-S**
THH515 ¥15,750(本体¥15,000)
● カラー：2300 レッド×パールホワイト
5093 ネイビーブルー×シルバー
● サイズ：23.0〜29.0cm

株式会社アシックス

アシックスシューズのストライプデザインはアシックスの商標であり、世界の多くの国で登録された商標です。 表示価格は消費税込みのメーカー希望小売価格です。( )内は消費税抜きの本体価格です。http://www.asics.co.jp 商品についてのお問い合わせは「アシックスお客様相談室」までどうぞ。03-3624-1814、06-6385-1155

世界の空へ、笑顔を乗せて。

国内線のお問合せ 0120-029-222　国際線のお問合せ 0120-029-333　www.ana.co.jp

(財)日本ハンドボール協会編　『ハンドボール』第四九八号
昭和四十年六月七日　第三種郵便物認可
平成二十一年二月二十六日印刷
平成二十一年三月一日発行
東京都渋谷区神南一―一―一
電話　代表〇三―三四八一―二三六一
〇〇一二〇―七―一〇二九三
編集兼発行人　川上憲太
定価　年間三二〇〇円